

効率的な教材研究に関する研究

－ 校内サーバによる資料の共有に視点を当てて －

長期研修 研修員 馬場 昌明 篠田 文信

1 研究の目的

日常行われている教材研究に関するアンケート調査から教材研究の実態を把握し、その結果を踏まえて教材研究そのものを見つめ直すとともに、限られた時間の中で行う「効率的な教材研究」の在り方を探る。

2 教材研究に関する調査

アンケート調査の概要

日常行われている教材研究の実態と課題を把握するために、県内の小・中学校教員を対象として、教材研究に関するアンケート調査を実施した。[対象:県内小・中学校の教員621名、実施:平成19年6月～7月]

アンケート調査の結果

- 一日に確保できる教材研究の時間は、「2時間未満」という回答が多い(図1)。
- 教材研究に確保できる時間に対して、「あまり満足していない」「全く満足していない」との回答が多く、教材研究の時間が少ない教員ほど、その割合は高い(図2)。
- 教材研究を行う場合の悩みの内容としては、「授業展開を考えること」「すぐ使える資料を探すこと」「教材を作成すること」との回答が多い(図3)。
- 「悩みを解決するためには、どのような方法が効果的か」という質問では、「教材研究を行う際に参考にできる教材や資料を共有すること」との回答が最も多い。
- 共有を希望する教材や資料の内容では「学習プリントやワークシート」「指導案や展開案」などが多い(図4)。

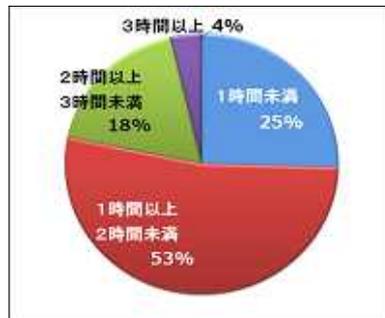


図1 教材研究として確保できる時間

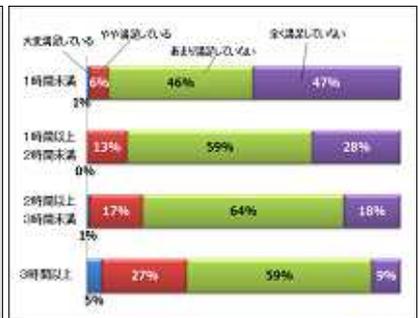


図2 教材研究として確保できる時間に対する満足度

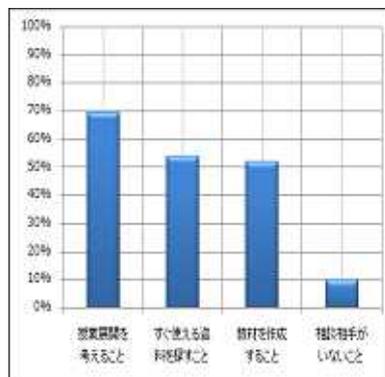


図3 教材研究の悩みの内容(複数回答)

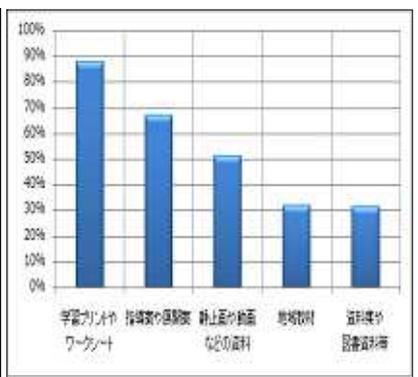


図4 共有を希望する教材や資料の内容(複数回答)

アンケート調査から導き出された課題

- 一人一人の教員が一日の中で確保できる教材研究の時間は限られており、その中で効率的に教材研究を進める必要がある。
- 効率的に教材研究を進めるために、教材研究に役立つ資料の効果的な共有方法を探る必要がある。

3 効率的な教材研究の考え方

従来の教材研究の問題点

資料が校内に分散して保管されているためすぐに見付からない。
授業展開を考える際に悩むことが多い。
紙資料のため破損や紛失があったり既存資料を活用しなかったりして、作り直しが多い。

効率的な教材研究とは

『「探す」「考える」「作成する」の3つの視点で改善された教材研究』

(3つの視点)

- 整理された資料の中から教材研究に有効な資料を手際よく探すことができる。
- 先行事例や既存の資料などを参考にして、授業展開等を考えることができる。
- 既存の資料(ワークシートなど)を活用して資料を作成することができる。

手だて

校内サーバを活用した資料共有が有効



校内サーバを活用した資料共有の利点

- 検索機能があるので、多くの資料の中から目的の資料をすぐ探すことができる。
- 一カ所に資料を集中保存できる上、全職員で同時に利用することができる。
- デジタルデータのため、加工・修正が可能となり、資料の作成が容易にできる。
- 省スペース化が図れるとともに、破損や紛失に対応することができる。

校内サーバを活用した共有の形態

《管理者主導型共有》

- 既存の資料やWeb上にある共有可能な資料などを管理者が使いやすく分類・整理し、管理者の指導のもと、全員で活用する共有。

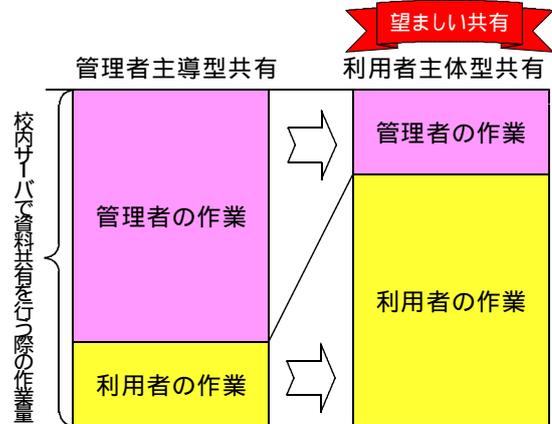
《利用者主体型共有》

- 利用者一人一人が共有に対する高い意識と技術をもって資料作成やファイル管理等を行う、使いやすさを意識した秩序ある共有。

本研究では、協力校(小・中学校)の実態を加味し、「管理者主導型共有」に近い形態で取組を進める。

[共有に必要な主な作業等]

資料作成 資料収集・精選 資料整理 ファイル管理 フォルダ管理 サーバ管理 共有のルール作り 利用者の共有化への高い意識



校内サーバを活用した共有資料の構成

単元及び内容項目一覧

小学校、中学校別に単元及び内容項目を一覧にして表示する。教科・領域別に全学年を1ページで確認できる。

単元計画及び内容項目別資料名一覧

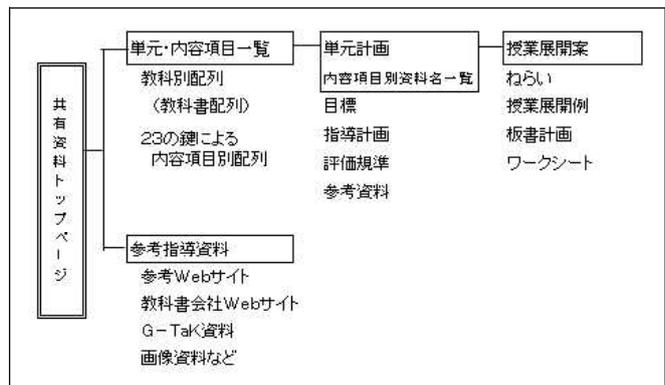
指導内容や資料名を、目標や主題名とともに単元別内容項目別に一覧表示できるようにし、1時間ごとの授業展開案がすぐに探し出せる。

授業展開案

授業展開例を簡潔に記述し、主な発問等を位置づけ、必要に応じてワークシートや参考資料を添付することにより、授業展開や発問、資料を考えたり作成したりする際に参考にできる。

参考指導資料

教材研究に参考となるような先行事例や画像資料、教科書会社などのWebページを参照できる。



4 取組の内容

共有資料を活用した取組の観点

- 教材研究に役立つ資料を手際よく探すことができたか。
- 授業展開等を考える上で参考になったか。
- 授業で活用する資料を作成する上で役立ったか。



小学校における共有資料の例

「探す」

単元計画例

資料が探しやすい

資料 画像資料やWeb資料、参考資料が参照できる

「作成する」

ワークシート

「考える」

授業展開案

1時間の授業の板書例が参考にできる

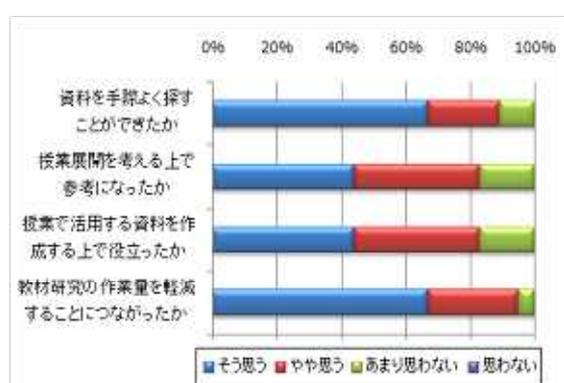
ワークシートの修正や保存が簡単にできる

授業の導入・展開・まとめやおおよその時間、指導上の留意点などが参考にできる

共有資料活用後の教員の声

- 「探す」について
授業で使う資料をトップページからすぐ探すことができた。
- 「考える」について
展開例、板書例など授業展開を考えるのにとても参考になった。
- 「作成する」について
デジタルデータなので、資料の作成に役立ち、資料が蓄積しやすいと思った。
- 「共有」について
活用が進めば、かなり教材研究の時間が軽減できると思う。
校内サーバを活用して、手軽に資料を見られるしくみを構築することは、大変有効であると思う。

共有資料活用後のアンケート調査



取組を通して

小学校における取組の考察

- 共有資料の活用により、「探す」「考える」「作成する」の3つの視点から教材研究が改善された。
- 共有を進めることが、教材研究の作業量の軽減につながるということが分かった。
- 今後の課題としては、共有への意識や技術を高めるとともにネットワーク環境の整備を進めることが重要である。

中学校における共有資料の例

「考える」

授業展開案

授業の流れをつかみやすくする基本的な発問が参考ができる

授業実施者が記入した「指導の工夫」をみんなまで共有できる

ワークシート

「作成する」

ワープロソフトで作成し、簡単に修正できる

内容項目別資料名一覧

「探す」

目的の資料の概要がすぐに見付けられる

拡大

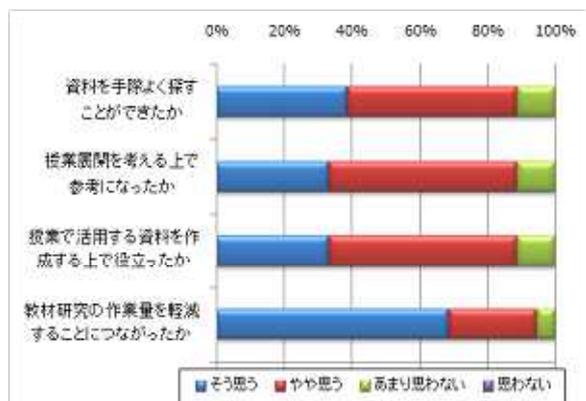
「備考」

- 「案内された役」の主役の感想は、感じ方を素直に表現できるように記述式でもよいと思います。
- 少人数の活動になってしまうので、体験後はグループになって話し合ってもよいと思います。
- このリンクが参考になります。[http://～]

共有資料活用後の教員の声

- 「探す」について
資料名が、内容項目やキーワード別で一覧表示されるので、欲しい資料をすぐ探すことができた。
- 「考える」について
展開例の他に、授業実践者が記入した授業の一工夫がとても役立った。
- 「作成する」について
ワープロ形式だから修正や拡大が容易にできた。
- 「共有」について
他の資料を持っている先生と更に多くの資料を共有したいと思った。
みんなでこのシステムを使う意識を更に高め、積極的に財産(資料)を共有していきたい。

共有資料活用後のアンケート調査



取組を通して

中学校における取組の考察

- 共有資料の活用により、教材研究における「探す」「考える」「作成する」という作業が軽減されることが分かった。
- 共有を行うことにより、「管理者主導型共有」から「利用者主体型共有」の共有意識へと変容していることが分かった。

5 研究の成果

- 教材研究のアンケート調査から、「教員が一日の業務の中で確保している教材研究の時間は限られており、その時間に満足している教員は少なく、有効な資料を共有したいと希望している教員は多い」ことが分かった。
- 日常の限られた時間の中で効率的に教材研究を行うためには、「探す」「考える」「作成する」という3つの視点で整理されている資料を校内サーバーで共有することが有効であることが分かった。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター

担当グループ：職業情報研究グループ 0270-26-9215(直通)